

Mitorix

ミトリクス／薬剤師のための調剤照合AI

Zero Miss, Peace of Mind.

調剤過誤の現実

6,000

年間6,000件の調剤過誤インシデントが報告されている。

約35%

そのうち約35%が医薬品の取り違いや数量の過不足に関するミス系である。

1件平均500万円

1件あたりの医療事故賠償額は平均で約500万円に達する。

なぜミスは起こるのか

名称・規格・一包化 複雑すぎる照合

1

類似名称薬が数千種類存在し、名称や規格の取り違えが常態的なリスクとなっている。



2

1日100枚を超える処方箋を数人で捌かなければならない繁忙な業務環境が、注意力を低下させる。



3

調剤の最終監査が薬剤師の目視のみに依存しているため、ヒューマンエラーを物理的に防止できない。



Mitorixの答え

処方箋OCR × 調剤AIカメラ × リアルタイム照合

処方箋スキャン



処方箋スキャン

OCR技術により処方箋の薬剤情報を瞬時に読み取り、デジタルデータ化します。

ピッキング台のAIカメラが薬剤を認識



ピッキング台のAIカメラが薬剤を認識

調剤台に置かれた薬剤をAIカメラが検知し、種類と数量を正確に特定します。

一致/不一致を即判定



一致/不一致を即判定

読み取った処方箋データと、AIカメラが認識した薬剤をリアルタイムで照合します。

アラート

*一致時

一致すれば、照合OKが通知され調剤が完了します。



*不一致時

取り違いや数量ミスがあれば、即座に視覚的・聴覚的アラートで警告します。

取り違いや数量ミスがあれば、即座に視覚的・聴覚的アラートで警告します。

照合エンジンの精度



類似薬判別を含む名称一致

高性能AIが処方箋と実物の医薬品名称を照合し、外観が極めて類似した薬も正確に区別します。



規格・剤形の画像照合

画像解析により、医薬品の具体的な規格（濃度、容量など）や剤形（錠剤、カプセルなど）を正確に特定し監査します。



数量カウントAI

処方された正確な数量と、画像認識による実物のカウント結果を自動で照合し数量ミスを防止します。



導入は3ステップ・工事不要

01



AIカメラ設置

既存ピックアップ台に
後付け可能で、工事
業は不要です。

02



レセコン連携

数クリックで連携が
完了します。

03



運用開始

最短3日で運用を
開始できます。

薬剤師の負担はこう変わる

従来

処方1枚あたり監査 **90**秒

精神的な緊張状態が常につき、
ミスへの恐怖が絶えない



ミスの恐怖

取り違いや数量ミスへの不安が常につきまとう

Mitorix導入後

処方1枚あたり監査 **30**秒

AIがダブルチェックを実施し、
ヒューマンは最終判断に集中



ヒューマンは判断に集中

監査はAIが担い、薬剤師は処方箋の解釈や疑義照会など人間にしかできない判断に集中できる

3つの導入プラン

Starter

月額**3.8万円**

小規模薬局向けに1台から導入可能です。



Standard

★★★
MOST LOVED

月額**9.8万円**

標準的な薬局に適しており、3台のAIカメラとレセコン連携が含まれます。



Enterprise

月額**25万円~**

中大規模チェーン向けプランです。監査ダッシュボード機能を提供します。



導入薬局の声



田中薬局／管理薬剤師

『夜間の一人体制でも安心感が段違い』



さくら調剤／薬局長

『新人教育の時間が1/3に』



メディカルファーマ／社長

『監査ログが全薬局で可視化できるのが最大の価値』

Mitorix

Zero Miss, Peace of Mind.

30日間の無償パイロット受付中

mitorix.jp

TEKION Group

